



ロータリーは
世界をつなぐ



RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

会報

2019 ▶ 2020
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

クラブの活性化と行動は 世界・地域に向けて

会長／福士 幸子 幹事／串橋 伸幸

プログラム

● 本日

来賓卓話「消費税軽減税率制度のポイント」
留萌税務署長 飯塚 秀都 様

会員誕生日

辻 本 哲 也
鈴 木 康 伸
大 嶋 孝 広

配偶者誕生日

青 山 志 保
菅 美 奈
櫛 井 奈 穂

● 次週予定

－法定休会－

No. 2840

第10回 9月11日

出席報告

前
例
会

会員総数……………31名
出免会員……………2名
出免出席……………2名
基準会員出席……………15名
出席率……………48.38%

前
々
会

第7回 8月21日

欠席会員……………12名
内メイクアップ……………0名
修正出席率……………61.29%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告……………

- 8月29日第3回定例理事会並びに第2回クラブ協議会を開催し、やん集あんどんの決算の承認、9月の例会プログラムの承認、9月7月25日開催の慶祝夜間例会の予算案の承認、8月の会計報告を承認しました。
- 8月30日に燕会員が盲腸の手術を受けたとの事で、お見舞いに行き参りました。点滴も取れて元気な姿を見て安心しました。

計画書、昨年度の報告書を受領しました。

- ・ 深川、羽幌ロータリークラブより、9月7日の例会プログラムと8月の会報を受領しました。
- ・ 妹背牛ロータリークラブより、9月例会プログラムを受領しました。
- ・ 赤平、芦別ロータリークラブより、8月7日会報を受領しました。
- ・ 本日より、米山梅吉記念館100円募金、賛助会員の募集を受け付けます。賛助会員は一人3000円です。希望者は幹事まで。
- ・ 米山記念奨学会50周年特別寄付を送金しました。



幹事報告……………

- ・ 9月のロータリーレートは106円です。
- ・ 地区より、ロータリー文庫運営委員会2018～2019年度の決算書を受領しました。
- ・ 砂川ロータリークラブより、8月会報、活動



委員会報告……………

親睦活動委員会

西谷 委員長

9月25日特別慶祝夜間例会の出欠が本日まで

第9回 9月4日(水) 天候/晴

となっておりますので、まだ出欠の返事を出されていない方はお早めにお願ひします。出席の方は現在20名です。多くの会員の出席を希望します。また、本日慶祝夜間例会のための委員会を午後6時30分、蛇の目にて開催いたします。関係する会員の出席をお願ひします。

社会奉仕委員会 関野委員長

11月17日開催予定の留萌ロータリークラブ青少年育成事業で、留萌市内および留萌管内のスポーツ少年団を対象に、元日本ハムファイターズのヘッドコーチだった白井一幸氏をお招きして、「チームにおける組織の人の伸ばし方、また今どきの若者の育て方、今後企業において管理職が求められる事」など、幅広い世代へ夢を持ち続ける事の重要性を講演していただく事になっており、只今準備を進めております。次代を担う子供たち、また地域で活躍する子供たち、一般企業や行政などの管理職、若手職員の方々に是非とも聞かせたい・伝えたい内容になっております。ここで皆様へのお願ひです。予算で8月の末に地区補助金額が決定しました。上限額40万円で申し込みをしましたが、結果15万円の補助金額で決定しましたので、25万円の不足金が生じました。この不足金を会員の皆様方にお願ひして、熱い友情と一人一人の力添えをお願ひしたいと思います。この事業実現のため、皆様のお力をお貸しいただければと思います。後ほど会員の皆様にご連絡させていただきます。どうぞご協力お願ひします。よろしくお願ひします。

国際奉仕委員会 西原委員長

先ほど幹事の方から連絡があったと思いますが、米山記念100円募金を集めます。ボックスを回しますので、よろしくお願ひします。

3分間情報

会員研修委員会 對馬委員長

本日の三分間情報はロータリーの友より「日本のロータリークラブの聖地」という見出し記

事について紹介いたします。日本のロータリークラブの創始者でもある米山梅吉氏は明治元年生まれで、少年時代を静岡県長泉町で過ごしております。8年間のアメリカ留学をいかして、三井銀行の幹部として活躍、その後三井信託の初代社長を務め、大正9年、日本初の東京ロータリークラブの会長を務めました。日本のロータリーの父とも言われています。静岡県長泉町は三島市と沼津市の間にある町で、町と言っても人口は4万人以上の町です。この町に米山梅吉記念館が出来たのが、昭和44年です。全国から多くの見学者が訪れる中、北海道の千歳セントラルロータリークラブのメンバーが訪れているのが有名な話です。会長になったら長泉町に行く事になっているようです。米山梅吉は自腹で青山学院幼稚園や青山学院初等部を作るほど教育熱心であったとの事です。

次に例会で「君が代」を歌うようになった理由とは、ロータリーの友に寄稿された有力な見解によると、1931年(昭和6年)満州事変が起り、1933年(昭和8年)には日本が国際連盟を脱退する事になりました。このような情勢の中、日本国内においても軍部や右翼などによる思想弾圧が起り、京都ロータリークラブの資料によると、1933年11月1日、国家社会党から「ロータリーは国家思想に反するフリーメイソンの外郭団体だ」と誹謗した書面が送られてきて、そのため国家社会党との会見で毎月1回一定の例会で国歌(君が代)を合唱して国家観念を協調するという事で了解を得て解決したのが、毎月第1例会で君が代を歌う事のなった由来らしいという事です。

ニコニコBOX

- 地区補助金事業、地域貢献の為頑張りたいと思います。皆様ご協力よろしくお願ひします。 富士会長
- 9月も皆様のご協力をお願ひします。 串橋幹事
- ガバナ一月信に退任挨拶が掲載されました。 對馬会員

- 地区補助金事業、皆様ご協力よろしくお願
います。 関野会員
- 会報の誤りがありました。 鈴木会員

前 回	234,000円
今 回	11,000円
累 計	<u>245,000円</u>



プログラム・・・・・・・・・・

来賓卓話「留萌市の政策課題と展望」

留萌市議会議員

市議会議長 小野 敏男 様

8年前に留萌ロータリークラブの例会にお招きいただいた時には「留萌の議会改革」という演題でお話をさせていただきました。本日は卓話と言うより、留萌市の政策課題について皆様に理解していただくと共に現状を理解していただき、皆さんからご意見も聞いて、それを持ち帰って行政に役立ていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

まず全ての問題に関わってくる事案で、人口減少について皆さんと認識を共有していただければと思います。留萌市の人口は昭和42年の4万2000人をピークに減少が続き、今では半分になってしまいました。政府の統計では、2040年には1万3000人。2060年には8600人程度になるという統計が出ています。現在でも年間400人位の人が留萌から流失していますので、それに年数を掛けると大体わかってくると思います。人口が1人減ると20万円の地方交付税が減ります。年間400人減ると8000万円位のお金が減ります。ですから、財政的にはこのような状況にあるという事です。本日は近々の課題という事で、4点ほどお話したいと思ひます。

1つは、地域医療をどう守っていくかという事です。市立病院の経営も含めて少しお話をします。2つ目が留萌市の庁舎をはじめとした公共施設の更新時期の問題について、お金も絡んできますのでそれらについても皆さんに現状をお知らせしたいと思ひます。3つ目は、JR留萌線の見直し問題と公共交通についてです。こ

れは留萌の将来につながる問題ですので、現状がどうなっているのかを皆さんにご理解いただきたいと思ひます。最後が、市長の公約でもある道の駅についてです。今現在、色々検討中ですが、現在の状況を含めて皆さんにお知らせして、ご意見をお聞かせいただければと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

それではまず1点目ですが、新聞等でご承知の通り、留萌市立病院の経営が非常に悪化しております。これは一つに常勤医師の問題もありますが、人口減少で患者さんも減っているのが一番の原因です。数字的に見ますと、昨年から入院患者で73,000人から65,000人位に減っています。外来では125,000人から120,000人に減っております。医師数では、10年前は31人おりましたが、現在は19人ですから2/3になり、俗に言う“お医者さんが1人いると1億円儲かる”と言われていましたのでそんな状況です。市立病院は救急医療も行っております。周産期医療もやっています。やはり、この地域には必要な病院なんです。夜間ドクターヘリは飛ばせませんし、深川や旭川へ行くにも1時間～1時間半という時間が生死を分ける結果になる事が多くあります。どんなに高速が整備されても、ドクターヘリが飛べても、10分、15分が生死を分ける場合もあります。結果、平成30年度には3億円の特別財政支援を行っております。建設費は、まだ53億円の残債があります。対策としては、特定健診の推進やジェネリック薬の推進。大学病院との連携による医師の確保なども一生懸命行っておりますが特効薬が無い状況です。今後は、病院規模の縮小やベット数の減少、人件費の抑制などの対策も必要であり、今後、増毛・小平・留萌といった広域連携の費用負担で、この地域医療を守っていく必要があると考えます。ごみの収集処理や消防などのように、一部事務組合的な運営体制を構築する事も視野に入れるべきと考えます。ちなみに、平成30年の実績では入院が61,574人中36,651人が留萌市民で、4割の方が留萌以外の入院患者です。外来も、119,807人に対し留萌市民は80,421人ですので、約3割の方が留萌以

第9回 9月4日(水) 天候/晴

外から外来として病院を利用しています。救急搬送は1,200件のうち留萌市民が672件で、44%の人が市外の救急対応患者です。3市町の受療動向は、留萌市が外来92.4%、入院78.7%。小平町は外来62.4%、入院80.7%、増毛町で外来50.8%、入院79.5%となっています。昔の救急補助金(搬入制)により算出された両町からの交付金が、小平町から365万円、増毛町から518万円が留萌市に交付金として入っています。しかし、今年は市立病院の赤字がひどく約3億円の特別融資の補正予算を組みました。これを含めて今回留萌市が払った金額が14億5千万円です。この内8億円が建設債として国から入ってきますので全部ではありませんが、多くの自主財源が市立病院に使われています。留萌市の財政調整基金が今まで20億円位積み立てられていましたが、色々使われて13億円に減りました。このまま行くと3~4年で財政調整基金が底をつきます。家庭で言えば郵便貯金や銀行預金が無くなるのと同じで、今後不安視されます。今後どうするかという問題で一番がベット数の精査で入院ベット数、リハビリのベット数などの考えて、人件費なども考えていかなければなりません。開院当時では350床でしたが、現在はリハビリも入れて250床で純粋に一般病棟では200床で約7割のベットの稼働率ですから3割は空いている状態です。看護師さんの数はベット数に応じて確保しなければなりませんので、看護師さんの人件費はベットが空いていても雇わなければならない事になりますので、実際の稼働率をベット数に合わせた看護師の配置を考えなければなりません。現在、市立病院の建設債は開業当初115億円で、今は53億円と半分弱になりました。まだまだ返済していかなければなりませんので、市民に信頼される病院として、多くの方が利用されるように議会としても見守っていかなければならないと思っております。市立病院も消防やごみ処理などのように広域で所有する事務組合を立ち上げて、運営する形が良いと思います。地域の生命安全は地域で守っていくのが理想ですので、今後そのような形になればと思います。

次に公共施設の適正配置ですが、留萌市の所有する建築物は561棟で延べ面積23万6千㎡あり、全国平均の3倍の面積を所有しております。その内大改修が必要な築30年以上の建物が299棟あり、公営住宅が42.4%、学校施設が23.8%となっています。市役所庁舎は築57年で続々と更新時期を迎える大型施設があります。文化センター、スポーツセンター、公民館など、今後10年間を目途に更新を考えています。建築費については、文化センターは過疎対策事業債を使えますので、70%が交付税措置されますが、他に多くの施設の建て替えがあり、社会教育施設や集会施設では利用度や需要を考慮して、廃止複合化などを進めるべきで、優先順位や財政負担の判断が必要になります。市庁舎につきましては、財政難のため全くの白紙状態で、場所・規模についても人口減少を踏まえて議論が必要だと思っております。財政負担も補助金を使えるかなど、大きな課題も残っているのが現状です。コンパクトシティとして場所の選定が難しいですが、現在跡地として建設可能なのが、私有地の病院跡地、北海道合板跡地、道有地として留萌高校校舎等があがっています。2019年度に公共施設等総合管理計画の個別計画が完成するので、今後は官民プロジェクトを立ち上げての話し合の機会が出来ますので、積極的に参加していただければと思います。

(次回に続く)